

寺報

No.700

令和7年12月

蓮華寺
行

御聖訓

ひやくせんあわ
百千合せたる薬も口にのまざれ
ば病癒えず。
やまい

『いちねんさんぽうもん
一念三千法門』



(解説)

法華経『寿量品』第十六に次のような例え話が説かれていきます。

「昔、ある処に名医がいました。ある日名医が留守の間に、その子供達が誤って毒を飲んでしまったのです。すぐに父のお医者さんは、薬を作って飲ませようとしたが、子供達は気が動転してしまい、薬を飲もうとはしません。困り果てたお医者さんは、一計を案じ、そこに薬を置いたままにして家を出ていつてしまいました。子供達は頼りにしていた父がいなくなり途方に暮れていましたが、終には意を決し自らが薬を飲んで助かる事が出来たのでした」

お釈迦様は『この医者とは私の事で、子供達とはこの世で迷える皆さんの事で、薬とは法華経の事である。いづれ私が亡くなったとしても、皆が法華経を信じ、頼りにして生きていくならば、必ず救われるだろう』と教えられました。

日蓮大聖人も「皆さんは、誰でも必ず心身の病を抱えている。この病を治す良薬は、法華経・お題目しかない」と断言されました。

どうか、我々はこの最高の良薬である法華経を、他の人に飲ませてもらうのではなく、自らが手に取り自らが口に運び、唱えていこうではありませんか。

大黒祭

十二月七日(日)

昼十二時半より

大黒様は、大去垢・大古久ともいい、一年の垢(あか)を取り去り、古(いにしえ)よりこの先、久しく我々を守護してくれる神様です。どうか、令和八年を迎えるに当たり、家庭の幸福を願い、必ずお祀りしています大黒様を行水し、お清め致しますよう。



*法要後に空くじなしの福引きがありますので、ご家族・ご友人をお誘いの上お参り下さい。

*賞品は、大黒様(一升枥一体・五合枥一体)を初め、沢山用意しております。

*なお、福引き券は、行水申込者・祈願申込者、一件に対して一枚お上げします。

②大黒様をお祀りしていない方もお参りして、どうか大黒様や景品を当てて下さい。

大黒様の行水のお申込み

- 一、三升枥以上・・・・・・・・三千五百円
- 一、三升枥以下・・・・・・・・三千円
- 一、二升枥以下・・・・・・・・二千円
- 一、一升枥以下・・・・・・・・千円
- 一、掛軸、額縁・・・・・・・・千円

③皆様がご持ちになりました『大黒様』は、僧侶がご祈禱した後、香水(大荒行堂秘伝の水)で清められ更に福引き券とお札が付きます。

- *祈願・・・・千円【福引・お札付】
- *特別祈願・・・・二千円【福引・木札付】

新規大黒様のお申込み

*新たに枥入りの大黒様をご希望の方は、事務所に飾っています見本をご覧になりお申込み下さい。

- 一升枥(特上、手彫り)・・・・五万円
 - 五合枥(特上、手彫り)・・・・四万円
 - 一升枥(機械彫り、残一体)・・・・三万円
- 《いずれも分割可能》

【開眼料・御幣代も含みます】

お正月のお札と付届の受付

例年の如く、お正月のお札と付届(お灯明料)を十二月より受付致します。

なお、事務所は十二月三十日までは(午後五時)まで開きますが、三十一日大晦日は元旦の準備の為(午後三時)で閉めさせて戴きます事をご了承下さい。

〈お札の種類〉

- ◎御守護札
- ◎自動車のお札
- ◎五段のお守り
- ◎令和八年度の暦
- ◎令和八年度のカレンダー
- ◎ご幣(白)
- ◎特殊ご幣(三宝荒神、七面様、龍神様など)
- ◎家内安全札
- ◎交通安全のステッカー各種
- ◎カード型御本尊のお守り
- ◎大黒様のご幣(三本立)

④この中で特殊なご幣は、お早目にお持ち下さい。
*『元旦祝祷会』の祈願・特別祈願も受付しています。
この時差し上げます「熊手」「破魔矢」は、既に祈禱してあります。

『御守護』札は

必ず貼付しましょう!

当山で、毎年年末に用意致します『御守護札』は蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らない方がいる為に貼付していない家庭が沢山あります。

どうか、今年度より、必ず貼付するようにお願い致します。



(一枚五百円)

また、今年度中に不幸がありましたご家庭でも、お札・ご幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

⑤檀信徒の皆様で、お引越しまたは住所や町名に変更がございましたら、必ずお寺にご連絡戴きますようお願い申し上げます。

蓮華寺事務所 ☎ 776-5840

お知らせ

盛運祈願会「一月分」

令和七年十二月二十九日(月)午後一時より

④ 令和八年の一月一日は、『元旦祝祷会』がありますので、月例の『盛運祈願会』は行われません。よって、今年の十二月二十九日に「一月分」のお守りをお渡し致します。

元旦祝祷会

令和七年十二月三十一日(水)午後十時開門

④ 『元旦祝祷会』にご参拝の方は、お寺の開門が大晦日の「午後十時」となっていますので、お時間にご注意の上お参り下さい。

『霊神符』を持ちましょう！

最近は思いもよらぬ事故・事件が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。皆様も「私は大丈夫」という考えはお止めになり、素直に毎月のお守り『霊神符』をお持ちになる様にお願致します。

『元旦祝祷会』次第

令和八年一月一日(木)午前0時より読経開始

※年の初めの大事ななお勤めですので、心を込めて一緒にお経(聖典)とお題目を唱えましょう！

『御祈禱』の時間にご注意の上、ご参拝下さい。

④ お勤めは午前二時まで行っていますので、その間はご自由にご参拝下さい。

式次第

礼拝文「謹みて礼拝し奉る」
開経偈「無上甚深微妙の法」
お経「方便品第二」

「普賢菩薩

勸発品第二十八」

【4ページ】
【6ページ】
【9ページ】
～
【35ページ】
【47ページ】
【67ページ】

懺悔文「夫れ懺悔は治病の」
御妙判「祈禱 鈔」

④ 御祈禱「(一回目)《午前0時半頃》

唱題行「南無妙法蓮華經」

④ 御祈禱「(二回目)《午前一時半頃》

宝塔偈「此経難持」
回向文「導師が唱えます」

【72ページ】

四誓願「誓つて南無妙法蓮」
三整唱「なむめうほうれん」

【76ページ】
【77ページ】

弾指合掌(祈りを込めます)

＊「御会式」の献花

【盛花】三浦 忠夫(寺院サービス)
【盛花】野澤 栄造(野澤電気)

＊「年中行事」へのお供物

◎聞法寺(工藤堯幸) ◎要心寺(加藤知宏)
◎妙現寺(秋田堯瑛) ◎道円寺(飛鳥玄龍)
◎無量結社(工藤妙淳) ◎小野寺民也
◎常唱結社(吉田堯照) ◎余木村青果
◎甘精堂(三浦敬祐)

◎蓮華寺大黒講中一同
◎藤原 心温・藤原 紗来

◎大山龍太郎・大山 篤仁・大山 紗都
その他、檀信徒の皆様よりの沢山のお神酒・お供物・お燈明料等誠に有り難うございました。

④ なお、今後「お米」または「お米代」等の奉納の希望がありましたら、お寺までご連絡下さい。
大本堂にご芳名を掲載します。

『檀信徒研修会』は来年三月までお休みになります。

お寺からのお礼

「御会式」や「年中行事」の際、御寶前にお供物等を特別奉納された皆様へ、心より御礼申し上げます。

＊お米・お米代の奉納

【講中】駒込講中・浜田信力講中
八ッ役講中・三内妙心講中
【大野】福井 竜一・渡辺 司・渡辺 和司
渡辺 兼治
【三内】渡邊 文教・渡邊 榮・渡邊 清光
【八ッ役】藤林 貢司・鳴海 孝志・五戸 章美
【本町】角田 祈保・角田 堯現
【浜田】木村 貴之・三上 信廣
【金木】角田 耕二
【小橋】工藤 優治
【入内】大柳 政世
【八幡林】三上 尚之
【大別内】杉淵 昌三
【夏井田】溝江 恵
【野辺地】亀田千千光
【中佃】三浦ナツヨ
【長島】雪田 葉子
【旭町】高坂 政明
【松原】故(森内 勇) 滝沢 福岡 修作

『位牌壇』を持ちましょう！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられています。

◎最近では家庭の事情から、家族が仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を安置し、仏壇の代わりにお寺に参拝する方達も増えてきています。

◎家族が仕事の関係で、誰も地元に住めない為に、『位牌壇』に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをする方も増えてきています。

◎仏様のご命日に当る日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭で追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。(維持費は変わります)三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL七七六―五八四〇

『靈断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

『提灯』の募集！

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」の際掲揚します『提灯』(ちょうちん)を募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒タイムズ(新聞)・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

十二月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り「靈神符」の交換の日です。
- ・お守りは、お勤めに参拝してから戴きましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



七 日(日) 大黒祭 昼十二時半より

十三日(土) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝して下さい。

二十一日(日) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め

二十九日(月) 盛運祈願会 午後一時より

【令和八年一月分です】

令和八年 一月一日(木) 元旦祝祷会 午前〇時より

☆奉仕のお知らせ

四 日(木) 大黒祭の準備 午前九時より

【幕、ノボリの掲揚、祭壇造り】

七 日(日) 大黒祭のお手伝い 午前九時より

二十八日(日) 元旦祝祷会の準備 午前九時より

【幕、ノボリ、提灯の掲揚】

三十一日【大晦日】(水) 元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

(注)新年初めてのお勤めですので、ご参拝を兼ねてご奉仕もお願い致します。

令和八年

一月三日(土) 元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

*『大黒祭』と『元旦祝祷会』はお手伝いが沢山必要ですので、一般檀信徒のご奉仕もお願い致します。

当日、時間までにご集合下さい。

教宣部長・杉淵昌三



元旦祝禱会

令和八年一月一日 (木)

午前0時より午前二時まで

(ご自由にご参拝下さい)



ご来光

(年頭記帳・法楽加持祈願・厄除熊手・破魔矢)

◎年頭の行事ですので、必ず参拝し一緒にお経とお題目を唱えましょう。

◎祈願【千円・熊手付】、特別祈願【二千元・破魔矢付】は十二月十日より受付ます。(お供物も受付)

⑨『午前二時半』には閉門となります。

⑨元旦のお勤めはこの時間帯にしか行いません。

⑨元旦のお昼はお勤めはありません。